「学士課程における学位授与方針(全学DP)」 到達度ルーブリック

DP1:幅広い教養と学科・専攻に係る専門知識を獲得し、「實地應用ノ素」を身につけている

解説: 所属する学部・学科において学習した専門分野に関連する知識と共に、外国語の運用能力や現代社会・歴史・文化・情報・人文・科学・芸術・スポーツなど、体系的な履修を通じて幅広い知識や技能を身につけている。

関連するコンピテンシー: ◎知識獲得力・問題解決力

ルーブリック項目	レベル0 (問題行動)	レベル1 (指示待ち行動)	レベル2 (通常行動=やるべきことをやるべき時にやった行動)	レベル3 (自主的行動=明確な意図や判断に基づいた行動)	レベル4 (独創的行動=独自の効果的工夫を加えた行動、状況を変化させようという行動)
行動特性	大学における学習活動で知識・技能を修得していない。あるいは、修得しようとしていない。	大学における学習活動で教員が授業で取り扱った知識・技能をそのまま理解している。	大学における学習活動で修得した知識・技能を幅広く関連付けている。また、関連する事項の情報収集に努めている。	大学における学習活動で修得した知識・技能を幅広く関連付け、他者に説明できる。また、関連する事項について幅広く、深く知識や技能の修得に努めている。	自身の専門分野に関連する知識と、専門以外の幅広い知識や技能を関連付け、他者にわかりやすい言葉を用いて説明できる。また、関連する事項について知識・技能の修得に向けた行動をするだけでなく、独自の工夫をしながらか活用している。
具体的行動例	授業科目を受講する際の行動				
	授業の内容が理解できない。あるいは、理解しようとしていない。	授業内で取り扱った内容を言葉通りに理解している。	授業内で取り扱った複数の内容を予習・復習を通じて関連付けている。	授業内で学んだこと、予習・復習によって学んだことに加えて、複数の授業科目で修得した知識や技能を関連付けており、他者に説明できる。	授業期間終了後も継続的に深く・広く情報収集に努めており、日常や社会問題に関連付けながら、他者のレベルや立場に応じた言葉を使いながら説明できる。
学生アンケートの設問	Q. 履修している授業科目の学習に関して、あなたの行動がもっとも当てはまるものを選択してください。				
	授業の内容が理解できない。あるいは、理解しようとしていない	授業で取り扱った内容は言葉通りに理解している	授業で取り扱った内容と自分で収集した情報を整理し、関連付けている	レベル2の行動に加えて、複数の授業科目で修得した知識や技能を関連付けており、他者に説明できる	レベル3の行動に加えて、授業期間終了後も継続的に深く・広く情報収集に努めており、日常や社会問題に関連づけながら、他者のレベルや立場に応じた言葉を使いながら説明できる

DP2:社会の課題を自らの課題として捉え、解決のために幅広い教養や専門知識を用いることができる

解説: 身の回りや大学における課題、または実社会における事象について、本来の目標と現状との乖離および乖離の要因を正しく理解して整理する力と、課題を自らの持つ知識や技能と結び付けて、その解決・改善に向けて自分が行動する計画を立てたり、その計画を実行に移す力。

関連するコンピテンシー: ◎問題解決力、創造力

ルーブリック項目	レベル0 (問題行動)	レベル1 (指示待ち行動)	レベル2 (通常行動=やるべきことをやるべき時にやった行動)	レベル3 (自主的行動=明確な意図や判断に基づいた行動)	レベル4 (独創的行動=独自の効果的工夫を加えた行動、状況を変化させようという行動)
行動特性	身の回りや大学、または実社会における事象に興味がない、または興味があっても正しく理解できない。	身の回りや大学における課題や実社会で起こる事象について、目標と現状を理解している。また、他者から指示があった場合に関連データを収集・参照する行動をしている。	身の回りや大学における課題や実社会で起こる事象について、目標と現状とのギャップを整理している。また、身に付けた専門知識や教養を関連付け、自主的に適切なデータを収集・参照し、まとめる行動や、将来起こりうる事象を予測している。	身の回りや大学における課題や実社会で起こる事象について、目標と現状とのギャップを理解している。また、身に付けた専門知識や教養、自主的に収集・整理したデータや将来発生する事象の予測を基に、課題をどう解決または改善するか計画を立て、計画に沿った行動に移している。	身の回りや大学における課題や実社会で起こる事象について、目標と現状とのギャップを理解している。また、身に付けた専門知識や教養、自主的に収集・取捨選択したデータを根拠に複数の解決・改善計画を立てている。さらに、整理したデータや将来の予測も踏まえつつ、状況に応じて、優先順位を柔軟に変動させながら計画を遂行している。
具体的行動例	授業で課されたレポートに対する行動				
	レポートの問いが理解できない。	授業で取り扱った内容のみでレポートを作成している。	授業で取り扱った内容に加えて、関連するデータ等を自主的に学習して、その結果を授業の内容と関連付けてレポートを作成している。	授業で取り扱った内容と自主学習で学んだ知識や技能に加えて、課題に関連する社会問題について自ら調べ学習をして、根拠のある仮説を立てて論述している。	授業で取り扱った内容と自主学習で学んだ知識に加えて、課題に関連する社会問題について自ら調べ学習をして、問題の原因とその解決に向けた仮説を複数のパターン別に論述しており、さらに、自信を持って人に説明できる。
学生アンケートの設問	身の回りや大学で与えられた(または自発的に発見した)課題、または実社会における課題を思い浮かべ、それに対してあなたがとる行動について、もっとも当てはまるものを選択してください。				
	他者から課題は与えられたが、それを放置した	他者から与えられた課題は理解したが、自発的に改善する行動は起こさなかった	自主的に課題を認識し、本来あるべき姿とのギャップを理解し、自分で情報を調べるなどの行動を起こした	レベル2の行動に加えて、次に起こることに対応する計画を立て、行動している	授業で取り扱った内容と自主学習で学んだ知識や技能に加えて、課題に関連する社会問題について自ら調べ学習をして、問題の原因とその解決に向けた仮説を複数のパターン別に論述しており、さらに、自信を持って人に説明できる

DP3:他者や異文化に対する理解力を備え、他者と円滑にコミュニケーションを図ることができる

解説: 文化・習慣・価値観が異なる他者の考えあるいは行動を正しく理解し、それらに対して受容する精神を持ちながらも、意見を適切な手段で明確に表現することで、他者との目線を合わせながら物事を進めたり、他者と尊重し合える関係性を構築する力。

関連するコンピテンシー:◎コミュニケーション力、多様性創発力、組織的行動能力

ルーブリック項目	レベル0 (問題行動)	レベル1 (指示待ち行動)	レベル2 (通常行動=やるべきことをやるべき時にやった行動)	レベル3 (自主的行動=明確な意図や判断に基づいた行動)	レベル4 (独創的行動=独自の効果的工夫を加えた行動、状況を変化させようという行動)
行動特性	・文化・習慣・価値観の異なる他者の意見や行動を理解していない、またはその背景を理解しようとしていない。 ・他者との行動機会において、自己中心的な行動をする。指示を理解できない。	・文化・習慣・価値観の異なる他者の意見や行動を理解しようとしている。 ・少人数(2~3名)グループの行動機会において、他者の指示通り行動している。	少人数グループにおける行動機会において、文化・習慣・価値観の異なる他者の意見や行動の背景を理解し、受け入れている。また、指示された行動のみならず、自分の意見は表明している。	4人以上のグループにおける行動機会において、文化・習慣・価値観の異なる他者の意見や行動の背景を正しく理解し、受け入れている。また、自身に求められる役割を理解し、自分の考えを伝えた上で、やるべき行動に移している。	4人以上のグループにおける行動機会において、文化・習慣・価値観の異なる他者の意見や行動をその背景と共に尊重しながら、自分の意見も伝えることができる。また、各人に求められる役割を理解し、他者との目線を十分に合わせた上で、適切な手段を選択して自分の考えを表現している。
具体的行動例	ゼミや授業内のグループワークでの行動				
	他者の意見には耳を傾けていない。他者が何を話しているのかわからない。	少人数(2~3名)で取り組む課題に対して、他者に意見を求められた時にのみ発言しており、自主的に発言はしていない。考えが近い人の意見は理由と共に理解しようとしている。	少人数グループに与えられた課題に対する自分の意見と、自分がやるべきことをグループに表明している。考えが異なる人の意見とその理由を正しく理解している。	4人以上のグループに与えられた課題に対しての自分の意見を伝え、複数の異なる考えを理由と共に理解し、尊重しながら、それらを組み合わせるグループとしてどのように行動するかについて、自分および他者の役割も含めて理解している。	4人以上のグループに与えられた課題に対しての自分の意見を伝え、周囲の意見を理解し、尊重しながら、自分が望むことと周囲が自分に望むことを把握し、着地点を提案している。さらに、自分及び他者に求められる役割を超えて、複数人の共同による相乗効果を生み出すための行動をしている。
学生アンケートの設問	Q. ゼミや授業内、部活など、グループで議論を行う際のあなたの行動について、もっとも当てはまるものを選択してください。少人数グループとは、2~3名のグループを指します。				
	他者の意見には耳を傾けていない。他者が何を話しているのかわからない	少人数グループにおいて、他者に意見を求められた時にのみ発言をしている	少人数グループにおいて、議論する内容に対する自分の考えと、自分がやるべきことをグループに表明している。また、意見が異なる他者の話の意図は理解している	レベル2の行動に加えて、4人以上のグループであっても、複数の異なる意見を尊重しながらグループとしてどのように行動するかについて全員に共有しており、自分および他者の役割を明確にしている	レベル3の行動に加えて、自分が望むことと周囲が自分に望むことを把握し、グループの着地点を提案している。さらに、各人の役割を超え、複数人の協働による相乗効果を生み出すための行動をしている

DP4:生涯にわたり主体性をもって学びを継続できる

解説: 将来の夢や目標をイメージし、その実現のために必要な道筋を考え、学術・文化・スポーツやあらゆる人間の価値観から多彩な学びを得るために、自分の意思・判断の下で行動し続けることができる力。

関連するコンピテンシー:◎自己実現力、創造力、知識獲得力

ルーブリック項目	レベル0 (問題行動)	レベル1 (指示待ち行動)	レベル2 (通常行動=やるべきことをやるべき時にやった行動)	レベル3 (自主的行動=明確な意図や判断に基づいた行動)	レベル4 (独創的行動=独自の効果的工夫を加えた行動、状況を変化させようという行動)
行動特性	・目標がない。または、目標はあるが努力はしていない。 ・新しい知識・技能を取り入れようと考えていない。	・目標を立てて努力しているが、計画性はない。 ・自分が得意な分野に関連する情報収集をしている。	・半年程度後に向けた明確な目標を立て、目標達成のために、スケジュールを意識した行動計画の立案を行い、計画に沿うように努力をしている。 ・自分が得意な分野だけでなく、幅広い分野・文化・価値観に関する情報収集をしている。	・半年程度後の明確な目標を立て、目標達成のためにスケジュールへの意識と工夫のある努力を怠らない。失敗しても努力を継続する。 ・自分の得意分野だけでなく、幅広い分野・文化・価値観に触れる機会を持つために行動し、新しいアイデアを得ている。	・5年~10年後の大きな目標と、関連した小さな目標を定めており、達成のための最適なスケジュールや手法を考え、日々工夫のある努力を継続する。失敗しても失敗から情報を得て、努力の手段に反映している。 ・幅広い分野・文化・価値観に触れる機会を積極的に持ち、そこから着想を得たアイデアは積極的に自らの行動に取り入れている。
具体的行動例	授業を受講した後の行動				
	授業を受講する意味が理解できない。指示があっても復習をしない。	授業で学んだことを頭の中で振り返っているが、次の授業に向けてどう学習を進めればいいのかわからない。	シラバスを見ながら次の授業や学期末試験に向けたスケジュールを考え、関連する知識・技能を調べるなどの学習に取り組んでいる。	シラバスを見ながら次の授業や学期末試験に向けたスケジュールを考え、自分にとって学習しやすい手法を用いて学習に取り組んでいる。授業内で関心があった点に加えて、疑問に思ったことは関連書籍を見る、専門の教員に質問する、現地に赴くなどの行動をしている。	カリキュラムの流れや他の科目との関連性を意識しながら、当該学期の授業や授業終了までのスケジュール、次の学期の履修計画等と考え、自分に合った手法で学びを深めている。また、自分の考えを専門外の教員や友人に共有し、意見をもらうことで、新たな視点の下で考えを広げ、深めている。
学生アンケートの設問	Q. これまでの学び(知識・技能や価値観などあらゆる学び)を踏まえた、あなたの行動についてもっとも当てはまるものを選択してください。				
	これまでのあらゆる学びの意味が理解できない。他者の働きかけがあっても行動しない	これまでの学びの意味や、継続して学ぶ意義は理解しているが、他者の働きかけがあった場合にのみ行動している	これまでの学びを踏まえて、これからどのような自分になりたいかを自分で考えて、学びを行動に反映するようにしている	レベル2の行動に加えて、半年程度後の目標を考え、目標達成のための行動計画を立て、日々努力している。また、新たな学びの機会を積極的に持つようになっている	レベル3の行動に加えて、5~10年後の目標を持ち、日々の行動を振り返りながら、目標達成に向けて行動を変化させている。また、新たな学びの機会を学んだことを日々の行動に取り入れるようにしている